

2022年度 授業の概要と授業計画

高度職業実践科 ITスペシャリストコース 3年

▲B@ 秋田コア ビジネスカレッジ

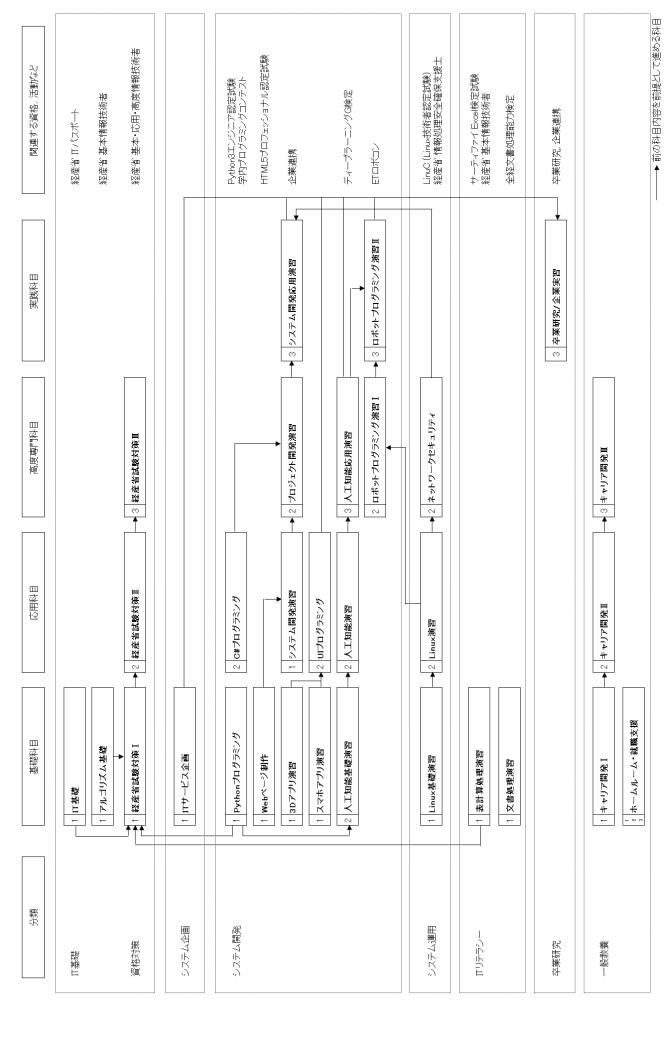
資格試験一覧

(高度職業実践科 ITスペシャリストコース)

資格名	試験日	対象	実施するレベル	検定料金	取得 ポイント
経済産業省 ITパスポート	6~9月	1年	レベル1	7,500円	3
経済産業省 基本情報技術者 経済産業省 情報セキュリティマネジメント	4~5月 10~11月	1,2年	レベル2	7,500円	5
経済産業省 応用情報技術者	4/17(日) 10/16(日)	2,3年	レベル3	7,500円	9
経済産業省 情報処理安全確保 支援士 経済産業省 ネットワークスペシャリスト 経済産業省 データベーススペシャリスト	4/17(日) 10/16(日)	2,3年	レベル4	7,500円	7
基本情報技術者 午前科目免除試験	12/11(日) 1/22(日)	1年	基本情報技術者午前試験	2,000円	3
文部科学省後援			3級	3,000円	3級 1
情報検定 情報活用試験			2級	4,000円	2級 2 1級 3
	7/1(金) 11/4(金) 2/27(月)	希望者	基本スキル	3,500円	
文部科学省後援 情報検定 情報システム試験	2, 2, (,1)		フ [°] ロク゛ラミンク゛スキル	3,000円	基本 2 PG 3 SD 3
			システムテ゛サ゛インスキル	3,000円	05 0
サーティファイ ソフトウェア活用能力後援委	9月下旬		3級	4,200円	3級 1
員会主催 Excel表計算処理技能後援試験	9月下旬	1年	2級	5,200円	2級 2 1級 3
全国経理教育協会主催	11月上旬	1.	3級	3,200円	3級 1
文書処理能力検定	11月上旬	1年	2級	4,200円	2級 2 1級 3
			3級	4,500円	
文部科学省後援 実用数学技能検定	随時	希望者	準2級	5,200円	3級 1 準2級,2級 2 準1級,1級 3
			2級	6,000円	
	Ditart	×+0.1/	基礎試験	5,500円	基礎 4
Python3エンジニア認定試験	随時	希望者	データ分析試験	5,500円	± ~ 6
		2412.11	レベル1	33,000円	レベル1 4
LinuC(Linux技術者認定試験)	随時	希望者	レベル2	33,000円	レベル2 6 レベル3 7
HTML5(HTML5プロフェッショナル			レベル1	16,500円	レベル1 3
iminac(iminaco) iminaco julio juli	随時	希望者	レベル2	16,500円	レベル2 4
ディープラーニングG検定 (ジェネラリスト)	7/2(土) 11/5(土)	3年	G検定	5,500円	5

	女					,	20	8		10	=		12	
		ŧ		三者面験(2年) (5月末まで)	スポー	本条		李·泰	言	スポー	三者面骸(1年) (11月末まで)		各華休泉	各等休余
			4/1 4/5 4/13		6/28		8/26	8/3	10/3	10/28	11/25 1		12/11	
		#	オリンス学生		K#-	っ築		< 8 0 ₹	m × o		基本情	基本情		泰 世 华
		\	ソルー		- シ犬会		- 淵 v ロ II ソ) フェス : スポー		- シ大会 (単本元	は	器牛柜		1.枚端44
			4/4 4/14 4/17		6/28		8/26	9/3	10/3	10/16 10/28	11/25			1/10
		重	報酬	基本 :	K.#			A B i	後期:	位用				灌 サ 〈
	•		炤業式 診断 建設 高度		- シ 大 会		予選アロコン	5 フェス 図) ロボニン	20 業式	理試験・高度情ーツ大会				光 荣 集 会
			4/4 4/14 4/17		6/28		8/26 8/31	9/3	10/3	-	=			1/10
		から	製土		Κ:		ツ;	٧ ٨	₩.	[살]	Ш (集
	e re	直接24	期 康 処用站 総 開・	₩ #=	₩-		内プ辞切	田口	至 投	₩.	∦ □ ⊢			サ 44
	•		监		ツ大会		選のことである。	フェス) 高度ボニン	* fd	高度情労大会	報(高度)である。			校業会
	通票给予定日		1 4 11 18	25 2 9 16 23	30 6 13 20 27	4 11 18 25	1 8 15 22 29	5 12 19	26 3 10	17 24 31	7 14 21 28	5 12	19 26	·····
	週日数	184日	4 5 5	4 2 5 5 5	ł	5 5 5	5 5	5 5 3	4 5 4	5 5 4 5	4 5	5 5		
	区分 単位	그소(80왕)	16 20 20	16 8 20 20 20	20 20 20 20 20	20 20 20	20 20	20 20 12	16 8 16	20 20 16	16 20 16 20 2	20 20		16 20 20
海格女孩 海南省阿蒙女猪目 銀口	+	22							2 2	2 2 2	2 2 2 2	2 2		
	+	20	ŀ		-	ŀ	+		7	2 2 1	2 1	+		
(+	42	2 2 2	2 2 2	2 2 2 2	2 2 2	2 2 2	2 2 2	2 -			+	+	
- 1		124	V	+	7 7	7	+	7 7						
システム開発応用演習	即候	38	1 2 2	1 1 2 2 2	2 2 2 2 2	2 2 2	2 2	2 2 1	-					
システム開発「システム開発応用演習 企業	\vdash	15			1 1	-	-	-	-					
システム開発応用演習	-+	9	- - -	1 1										
三角骨が、ハルケロサンギロ	7 加度	88		c	0	•	-	c	-			+	+	
ノベノ はぎな ロボン・イエン・スノン 名言 3 米日 シストノ 間袋 ロボットプログルドン 強困 1 機井	+	40	.ļ	1 2 2	2 6	,	+	,	2			l	-	
システム開発「ロボットプログラミング演習 ロー	1	4	1 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2 2	2 2 2	2 2	2 2 2	2					
	8	122	ļ				ļ							
人工包能及用資础	剛展	21	1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1	1 1	-		-					
本集研究 本集研究/企業実習 奥山	Н	30								2 2 1	2 1	_		7
卒業 伊吹 / 企業 実面 事	-	31							2 1	2 2 2	2 2 2 2	2		2 2 2
卒業研究/企業実習 米	_	38								2 3 2	3 2	-		က
卒集研究 本集研究/企業実習 黒澤	1 000 000	38								3 2 2	2 2	4		7
	6 種類	137	_						+		+	+	+	
- 数数表 キャリア開発皿(字校行事官) - 許等書 十一/ " - / ・非等主語 書: :		0 4	-	-	-	•	+	-	-	-	•	-	+	-
1	┰	S	- 4	10 0	- 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	- 4	- 4	- 4	- 77	- ;	- :	- ;	_	

高度職業実践科(ITスペシャリストコース) 科目関連図



高度職業実践科 ITスペシャリストコース 3年

- 1. 資格対策
 - (1)経産省試験対策Ⅲ
- 2. システム開発
 - (1)システム開発応用演習
 - (2) ロボットプログラミング演習Ⅱ
 - (3)人工知能応用演習
- 3. 卒業研究
 - (1) 卒業研究
- 4. 一般教養
 - (1)キャリア開発Ⅲ

科目名	経産省試験対策Ⅲ	期間	通年
対象	高度職業実践科 IT スペシャリストコース 3 年	授業回数	120
授業方法	講義	単位数	16
教員名	奥山 幸平、藤井 孝太郎、小坂 幸貴	分類	一般
目標	経済産業省の応用情報技術者試験または高	高度情報技術者	斉試験に合格する。
概要	応用情報技術者試験または高度情報技術者 試験の過去問、模擬試験を繰り返し行う。		こ向け、必要な知識を習得し、資格
評価方法	出席状況、授業態度(参加度)、検定試験	――― 倹結果などの約	※合評価 ※合評価
授業計画	1~24 春期情報処理技術者試験対策 (模擬試験 2 コマを含む) 25~120 秋期情報処理技術者試験対策 (模擬試験 4 コマ×2回を含む)		
使用教材等	• 模擬試験		
履修上の 注意	必ず合格するという強い意志を持ち続ける 習の時間を確保すること。	ること。授業®	時間だけでは不足するので、自学自

科目名	システム開発応用演習	期間	前期
対象	高度職業実践科 IT スペシャリストコース 3 年 情報システム科 IT・アプリコース 2 年	授業回数	60
授業方法	演習	単位数	4
教員名	藤井孝太郎、鎌田智也、村上史生	分類	実務 (Web 系システム開発担当)
目標	チームを組み、他者と協力してシステム開 を企画し、開発することができる。	発を行うこと	ができる。Web 系アプリケーション
概要	教材のサンプルを実際に動かしながら Pyth 術要素を学ぶ。次にチームを組んで、これ 開発を行う。		_
評価方法	出席状況、授業態度(参加度)、実践演習	の総合評価	
授業計画	【教材サンプルの作成】 1 環境構築 2 Djangoの概要 3 パラメータの送受信 4 テンプレートの利用 5~6 フォームの利用 7~8 データベースを操作 11 テーブルの検索 12 バリデーション 13 14~15 複数テーブルの活用 【教材の課題】 16~35 ミニ SNS の作成演習 【プロジェクト企画による Web アプリケー36~37 企画38~40 要件定義41~45 設計46~55 製造56~58 試験 59~60 成果発表	ション作成】	
使用教材等	・Python Django3 超入門(秀和システム)		
履修上の注意	本演習では、多くの技術要素を組み合わせ レームワークも利用する。一度にすべてを ・サンプルの作成を繰り返し何度でも行う ・自分の作りたいものを見つけて実際に作 ・トラブルが生じたら理解を深めるチャン ことが重要である。また、本演習では他者	理解すること 成に挑む スと認識して	はできないため、 解決のためにあらゆる手を尽くす

科目名	ロボッ	トプログラミング演習Ⅱ	期間	前期
対象	高度職業実践和	斗 IT スペシャリストコース3年	授業回数	120
授業方法		演習	単位数	8
教員名	奥山	幸平、藤井 孝太郎	分類	一般
目標		即するための技術要素を組み合わ こなること。ET ロボコン 2022 東		
概要	術、リアルタ/ を学ぶ。 ET ロボコン 20	m EV3 を制御するプログラムを (ム OS、センサー/モーターの要 22 東北地区大会に出場し、その こプログラムの客観的な評価を得	素技術、C/C 成果により、	Y++を中心にしたプログラミング
評価方法	出席状況、授業	、	果物(設計書	、プログラム)などの総合評価
授業計画	13~20 21~26 27~28 29~30 31~120 また、これらの立案し活動したある。	ET ロボコンについて(大会規定 Mindstorm EV3の構造について ・EV3の分解・組み立て・整備 プログラミング環境について ・プログラミング環境ののセット・WSL および Visual Studio Co・シミュレータ環境の理解 サンプルプログラムのビルドと C++プログラミング入門 ・オブジェクト指向プログラミングス門・オブジェクト国・クラス回・ステートマシン図・クラスーケン ライントレースに関する要素技 プロジェクト活動プロジェクト プロジェクト活動プロジェクト ステート 対応 カイベントをプロジェクトにおいていく。そのため、各メンバーの 、学内にて成果発表会を実施し、	につかて さい で で で で で で で で で で で で で で で で で で	く トについて ストーン」として捉え、計画を 動とスケジュール管理が必須で
使用教材等	・大会本部から	. 入門 改訂2版 ら配布される公式資料 ット上のリソース、プリント等		
履修上の 注意	ET ロボコン大:	会のイベント参加により活動する	時期・場所フ	が変更される場合がある。

科目名	人工知能応用演習	期間	前期
対象	高度職業実践科 IT スペシャリストコース 3 年	授業回数	15
授業方法	演習	単位数	1
教員名	藤井 孝太郎	分類	実務 (アプリケーション開発)
目標	機械学習の中でも強化学習を使用して、目 学習モデルを使用したアプリケーションの		The state of the s
概要	Unity ML-Agents を使用して、モデルの生して 3D アプリケーションへのモデルの適別		ら強化学習について学ぶ。演習を通
評価方法	出席状況、授業態度(参加度)、実践演習	の総合評価	
	1 強化学習の概要と環境権		
	$2\sim3$ Unity ML-Agents の基礎	* E	
	$4\sim6$ さまざまな学習方法		
	7~10 サンプルの学習環境		
	11~13 ゲーム開発における強何	化学習の活用	
	1 4~1 5 Python API を使った学	習環境の構築	
授業計画			
使用教材等	・Unity ML-Agents 実践ゲームプログラミ	ング v1.1対	芯版(翔泳社)
履修上の 注意	テキストをなぞるだけでなく、自分でモデ ること。	いの生成や適	用を試しながら応用力を身につけ

科目名	卒業研究	期間	後期	
対象	高度職業実践科 IT スペシャリストコー ス 3 年 情報システム科 IT・アプリコース 2 年	授業回数	140	
授業方法	演習	単位数	9	
教員名	奥山 幸平、藤井 孝太郎	分類	実務	
目標	2年間または3年間の集大成として実 効果的なプレゼンテーション技法をマ		は研究を行う。	
概要	2年間または3年間で習得した知識や 行い、成果を発表する。	をもとに、	個人あるいはチームで制作や研究を	
評価方法	出席状況、制作過程、成果物、プレゼ	ジンテーション		
授業計画	1~15 企画書の作成 16~50 設計書の作成 51~120 製造、試験 121~134 プレゼンテーション準備 135~138 卒研発表会 139~140 総括			
使用教材等	各自で用意			
履修上の 注意	企業におけるプロジェクト活動と同じ めに力を尽くすこと。	であるため、他	人の迷惑にならないようチームのた	

科目名	キャリア開発Ⅲ	期間	通年
対象	3 年全学科	授業回数	15
授業方法	講義	単位数	2
教員名	クラス担任 他	分類	実務 (企業人事担当)
目標	自らのキャリアを主体的に捉え、働く として求められる人材能力を高める。	ために必要な能	力について意識し、社会人、企業人
概要	地域や社会で活躍する企業担当者・卒 なコミュニケーションスキルを、実践		
評価方法	出席状況、授業態度(参加度)、実践	議習などの総合	評価
授業計画	1~4 人間関係を作るための・・協調性 4~6 人間関係を作るための・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・自己表現能)トレーニング (・チームワー)トレーニング (と表現能力)トレーニング (・自己表現能	ま力 (2) -ク (3) (4) ま力
使用教材等	・プリント等		
履修上の 注意	主体的な行動を心掛けること		